

【消化器外科】

「鼠径ヘルニア」とは？

国吉病院

医師 小田 浩睦 さん

「ヘルニア」というのは何らかの組織が正常な位置から飛び出ている現象を示す用語です。「腰のヘルニア」というのは「椎間板ヘルニア」のことで、背骨(脊椎)の骨と骨の間の軟骨(椎間板)が飛び出る状態で、整形外科の医師が取り扱う病気です。

では「鼠径ヘルニア」とは？ 脚の付け根の部分を医学的には鼠径と呼びます。「鼠径ヘルニア」とは、



本来ならおなかの中にあるはずの脂肪や腸の一部が、鼠径部の筋肉の層の間から皮膚の下に出てきて「脚の付け根が腫れる」病気です。いわゆる「脱腸」です。治療は消化器を扱う外科医師が行います。

乳幼児の場合はほとんど先天性のものですが、成人の場合は加齢により身体の組織が弱くなることが原因で、特に40代以上の男性に多く起こる傾向があります。

す。治療法は手術しなく、出口部分を縫って閉める、補強材を用いて修復する、あるいは腹腔内(おなかの中)から腹腔鏡を用いて入り口を覆ってしまうなど、それぞれの方に適した方法で対応することになりますのでご相談ください。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他